

日本臨床救急医学会・日本救急看護学会共催シンポジウム
「救急電話相談の現況と今後の展望」第2回 **プログラム**

開催日時：2026年4月11日（土）12:30～17:00 予定

会場：東京都医師会館 講堂（東京都千代田区神田駿河台2-5）

■ **開会の辞**（12:30～12:35）

日本看護協会 常任理事／日本救急看護学会 代表理事 浅香 えみ子

■ **基調講演「救急医療電話相談体系の軌跡」**（12:35～12:50）

社会医療法人社団 正志会 救急災害医療連携・DX 推進部門／東洋大学情報連携学 学術実業連携機構
日本臨床救急医学会 代表理事 森村 尚登

■ **第1部 看護師業務と教育の進展**（12:50～14:50）

テーマ：「**救急電話相談における看護師業務の現状と教育体系の標準化**」

司会 小倉記念病院／日本救急看護学会 理事、救急電話相談トリアージ委員会担当理事 立野 淳子

司会 横浜市立市民病院／

日本臨床救急医学会 緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会委員長 高橋 耕平

演題1 福岡・北九州地域における救急電話相談の教育体制構築および教育効果の検証の取り組み

社会医療法人 青洲会本部 伊藤 重彦

演題2 院内電話相談トリアージの現状と課題

文京学院大学 今井 亮

演題3 救急電話相談の教育体制整備における学術団体の役割

名古屋市立大学大学院 船木 淳

演題4 加算要望に向けたデータ蓄積の必要性

公立昭和病院 平柳 和奈

演題5 救急電話相談トリアージの質保証に向けた院内体制整備

薬師寺慈恵病院 大村 正行

演題6 **【特別発言】看護師専門領域の一つとしての救急相談業務**
総合討論

福島県立医科大学附属病院 宮崎 博之

<<休憩>>（14:50～15:00）

■ **第2部 医師・運営者・AIの関わり**（15:00～16:55）

テーマ：「**医師・運営者・AIの関わり**」

司会 名古屋市立大学大学院／日本救急看護学会 理事、救急電話相談トリアージ委員会委員長 船木 淳

司会 順天堂大学医学部附属練馬病院／

日本臨床救急医学会 緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会担当理事 杉田 学

演題1 **【指定】学会の役割 緊急度概念** 緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会委員長 高橋 耕平

演題2 **【指定】さいたまAI**

自治医科大学附属さいたま医療センター 守谷 俊

演題3 **【指定】ウェブプロトコル検証**

日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野 櫻井 淳

演題4 **【指定】オリオンを使った7119のエビデンス**

大阪大学医学部附属病院 織田 順

演題5 **【特別発言】AI活用システム開発の進捗**

社会医療法人社団 正志会 救急災害医療連携・DX 推進部門／東洋大学情報連携学 学術実業連携機構
日本臨床救急医学会代表理事 森村 尚登

演題6 **【特別発言】#7119の全国展開に向けた消防庁の取組**

総務省消防庁 消防・救急課救急企画室 辻 正一

総合討論

■ **閉会の辞**（16:55～17:00）

横浜市立市民病院／

日本臨床救急医学会 緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会委員長 高橋 耕平

以上